

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	千川さくらぼクラブ		
○保護者評価実施期間	2024年 10月 21日		2024年 11月 1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	10名	(回答者数) 10名
○従業者評価実施期間	2024年 10月 21日		2024年 11月 1日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 11月 8日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	原則週5日の利用としていることから、利用者個々の継続した状態の把握をしたうえで支援を行うことができる。	毎日の職員間の打ち合わせや記録の共有を通して、継続した状態の把握と支援の検討に努めている。	ご家庭や学校、他の関係機関との連携をさらに強化していく。
2	年8回の事業所職員の学習会実施を通して支援の質の向上に取り組んでいる。	情勢の確認をはじめ、今年度は特に新ガイドラインの把握、放課後等デイサービスの4つの基本活動、本人支援の5領域について学びを深め、全て網羅する活動の組み立て、支援内容を検討している。	今後も職員の学びを継続し、特別支援学校学習指導要領等も参考にしながらガイドラインに沿った支援を展開していく。また外部の研修にも積極的に参加し、支援の質の向上に取り組んでいく。
3	週5日の利用をすることで、放課後等デイサービスの4つの基本活動、発達支援の5領域を1週間の曜日別活動を通して網羅した支援を行うことができる。	各活動は4つの基本活動、5領域の中で何を中心として取り組むかを整理し、活動の目的、目標を明確にして進めている。	学習会での学びをいかし、各活動の目標を明確にして取り組むために、独自の記録ツールを用いてアセスメントから活動目標を定め、個別の支援方法について検討を行い支援にあたる。またその結果をふまえた活動を組み立てていくPDCAサイクルで進めている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会の未実施。	保護者の就業を支援するという当事業所の目的から保護者の負担を大きくしたくないという思いから開催していない。保護者会についてアンケートを実施したところ、「開催を望む」が2割、「どちらでもよい」が8割であり、時間的に難しいという意見が多かった。	オンラインでの開催の検討や、開催時間の工夫をし、保護者の負担が少ない状況での開催を検討する。
2	地域の放課後児童クラブや児童館との交流や、他のこどもと活動する機会が少ない。	現在学校休業日に近隣の施設を利用する際に交流を持つ程度である。	どのような交流が望ましいか検討が必要。
3	安全計画、危機管理マニュアル、BCP、感染対策指針、送迎安全マニュアル、虐待防止マニュアル等法人内で整備しているものの周知が徹底されていない。	保護者会を開催していないこともあり、個人面談においての説明のみで、全体に周知する機会を設けていない。	全体への周知としてまずは一覧表などを作成し配布等を行う。